

【実施区域・面積】

群馬県、0.11ha

【生態系タイプ】

二次草原・草地、創出緑地

【実施区域の状況】

三菱電機群馬工場は群馬県太田市岩松町に位置する工場であり、周辺には太田を源流とする石田川、稲作を行う水田環境などの明るい草地の環境が多くある。工場構内にはふるさとガーデンなど、社員が自然に親しむことを目的とした緑地があり、2025年に工場北側開発跡地に生物多様性などを目指した創出緑地を作った。

【目標】

周辺環境である石田川や水田景観などの二次草原や水辺環境を再現し、地域の生物が利用できる環境の創出を目指す。
加えて、環境教育の提供の場としても活用し社員をはじめとした関係者へ活用してもらう。

【主な活動内容】

- ①サイトに二次草原を再現する。粗放的管理への移行と地域由来の在来植物の植栽を行う
- ②工場排水を利用したビオトープに地域のトンボ類等が利用できる環境を再現する。
- ③社員や関係者に向けた環境教育を実施し、自然環境とふれあう機会を作る。

【モニタリング計画】

- ①サイト内のチョウ類・バッタ類・トンボ類
- ②サイト内の植物
- ③工場内で確認された重要種を対象とし、任意観察によるモニタリングを行う

実施頻度は①：夏季・秋季の2回、②春、春～初夏、秋季の3回、③5月～6月に1回

【実施体制】

三菱電機株式会社 静岡製作所 群馬工場：全体管理及びモニタリングの実施

協力:市内の県立公園指定管理者（株式会社山梅）の保全管理担当者



活動①：二次草原・植樹エリア
草地や樹林地に暮らす生き物がテーマ



活動②aオトープ 名称:キラリ池+



生物多様性の見本園 名称:ふるさとガーデン



営巣を確認したコチドリ

【計画期間】

2026年3月～2031年2月